



1155 麺元 田舎家

「まずはそばがき。そば本来の味がわかります」と案内されたのが「麺元 田舎家」。信州産そば粉100%で作ったそばがき。しっかりとした風味とモチっとした独特の食感がたまらない。一口味わうごとに清らかなそばの味が広がる。

〒安曇野市穂高5968-2 ☎0263-82-6928



1235 大王わさび農場

「1日に12万tの水が湧き出ていますが、これは約20万人の一日の生活水をまかなえる量なんですよ。」と今野さん

〒安曇野市穂高3640 ☎0263-82-2118



ここで「そばタクシーチケット 500円分」を利用。ざるそばが800円のため、300円の支払い。

1300 そば処 寿々喜

碌山美術館の目の前にある「寿々喜そば店」へ。ざるそばは盛りが良く、1人前とは思えないほどたっぷり。歯ごたえのあるみずみずしい麺に、鯉のダシがきたい辛めのそばつゆが絡み、あっさり完食。「お客さんにお腹いっぱいそばを食べさせたいという先代の思いで、多めなんです。」と若きご主人・鈴木将登さん。

〒安曇野市穂高5609-3 ☎0263-82-4024



1400 そば cafe レイオンヴェール

締めはそばスイーツ。「安曇野産そば粉で作った、そばシフォンを食べに行きましょう」と、ジャンセン美術館併設のカフェへ。粉はそば粉オンリーなのにとってもふんわり、香ばしいそばの風味が引き立つよう甘さは控えめで、クリームと一緒に食べればなんとも言えない幸福感。

〒安曇野市穂高有明4018-6 ☎0263-823-3668



1335 碌山美術館

ツタで覆われた建物が美しい、安曇野のシンボルの美術館。何より展示されている荻原碌山の彫刻作品に、強い感銘を受ける

〒安曇野市穂高5095-1 ☎0263-82-2094



1130 待ち合わせ JR 穂高駅前

安曇野観光の入り口、穂高駅で待ち合わせ。今回乗車するのは「そばタクシー」2.5時間コース



1135 穂高神社

駅の東側すぐにある穂高神社へ。樹齢500年を越えるという「孝養杉」はパワースポット

〒安曇野市穂高6079 ☎0263-82-2003 (本宮社役所)



1335 碌山美術館

ツタで覆われた建物が美しい、安曇野のシンボルの美術館。何より展示されている荻原碌山の彫刻作品に、強い感銘を受ける

〒安曇野市穂高5095-1 ☎0263-82-2094

安曇観光タクシー

1965 (昭和40) 年の創業から約50年、地元はもとより観光客からも愛されるタクシー会社。一般走行や観光ガイドはもちろん、登山客に向けたマイカー移送サービスや、周遊バス事業など幅広く展開している。観光ガイドタクシー認定乗務員5名を擁し、地元ならではのスポットへ案内してくれる。

〒安曇野市穂高450 ☎0263-82-3113



column

2

話題の「信州そばタクシー」に乗車体験

今年から始まった「信州そばタクシー」。

そばの研修を受けた運転手が案内役となり、観光地を巡りながらそばの魅力語ってくれる。

今回は実際にそばタクシーに乗車体験して、そばづくしコースを堪能してきました。



そば通の運転手さんが案内してくれる

雄大な北アルプスと清らかな湧水、広がる田園風景。そして美味しいそばとの出会いをもとめてやってきた、安曇野。JR穂高駅を降りると、笑顔で迎えてくれたのが、安曇観光タクシーのドライバー・今野治彦さんだ。「今日は心ゆくまでそばを味わいたいです」とのお願いに、「わかりました、おまかせください」とサッとドアを開けエスコートしてくれる。今回利用する観光ガイドタクシーは、3年間無事故無違反かつ「観光ガイドタクシー」認定試験に合格したドライバーが、貸切車でガイドしてくれるサービス。料金は時間制でモデルコースの設定はあるものの、乗客のリクエストに応じてコースを提案してくれる。今春からは新たに「そばタクシー」の運行を開始。地元を知り尽くしたドライバーおすすめのそば店に案内してくれ、さらに食事補助券500円分が支給されるというプランだ。通常は1軒の紹介だが、今回は「そばづくし」をテーマに、そばがき、ざるそば、そばスイーツと3軒を回ることに。いったいどんなそばに出会えるのか、期待に胸を膨らませつつ、いざ出発！